

## 《どうでもいい話、その 551》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

前回の話でもちょっと触れましたが、東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗前会長が、女性蔑視発言で国内外から叩かれて辞任に追い込まれた話の第二弾。別に森さんを擁護するつもりはありませんが、世界の人たちは、このような発言の批判に対し、一斉に「そうだ、そうだ」と同調します。「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」の発言がはたして女性蔑視になるのでしょうか。これが「男性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」の発言だったら男性蔑視と騒ぐでしょうか。つまり「男女の格差をなくし平等に」の考えではなく「女性は弱いだから文句を言ってはいけません」なのです。つまり森発言を女性蔑視と言う方が女性蔑視です。そもそも男と女は、身体の構造、力、容姿、精神、声からしぐさなど、根本から違います。これが人間です。いや、動物、鳥類なども同様の生物です。ただなんでも例外はありますが・・・。森さんは女と男と比較し、女の特徴、傾向を言ったまでです。したがって、オリンピックなどのスポーツ競技は、ほとんどが男と女を分けて行います。これに対しては「男女格差だ、不平等だ」との意見はありません。そもそも男と女は根本的に異なり同じではない、との認識で、お互いに弱いところ、足りないところをサポートし合うことが大切です。世界の皆さん、なんでも「そうだ、そうだ」と同調せずに、冷静にものごとを判断しましょう。なんちゃって！

岩波より